

## ふるさとチョイスを活用したクラウドファンディングを実施

～近代彫刻の巨匠・小平市名誉市民の「平櫛田中」が  
創作を続けた記念館を 後世に残すために～

市では、竣工から56年が経過し、老朽化が著しい「平櫛田中（ひらくしでんちゅう）彫刻美術館の記念館」の耐震補強・改修工事を行うため、皆様から寄付を募り、工事費用として活用させていただきます。

近代日本を代表する彫刻家である平櫛田中が晩年を過ごし、創作活動をつづけた記念館を後世に残し、再び公開できるよう、ぜひ皆様の温かいご支援をよろしく願います。

**【受付期間】** 令和6年4月27日（土曜日）から7月25日（木曜日）

**【内 容】** 一口1円から。ただし、インターネットサイト「ふるさとチョイス」で寄付される場合は、最低金額は2,000円になります。ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングで、寄附金控除の対象となります。

**【目標寄付金額】** 500万円

**【寄付者への特典】** 寄付金額に合わせて返礼品をお渡しします。小平市在住の方は対象外

- ・1万円以上 図録（既刊のものより選んでいただけます）
- ・5千円以上 絵はがきセット、クリアファイル大、蒔絵風シール
- ・2千円以上 絵はがきセット

**【寄付の方法】** ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」、金融機関または郵便局から、現金書留、現金持参 のいずれかにより寄附いただけます。

**【参考】**

平櫛田中…1872年、岡山県に生まれる。少年期に木彫に興味を覚え、19歳の時に中谷省古に弟子入りして木彫の手ほどきを受けて以来、百歳をこえてからも現役の彫刻家として活躍。六代目尾上菊五郎をモデルとした《鏡獅子》は、20年以上の歳月をかけて制作した代表作。小平市には1970年より居住、1979年に小平市自宅にて永眠。

**【クラウドファンディングの経緯】**

今回のクラウドファンディングは「平櫛田中応援プロジェクト 第2弾」。令和元年、2年に実施した耐震診断で、基準を大きく下回る結果となったため、記念館の公開を一部分に変更。令和5年度にクラウドファンディングを実施し、耐震補強・改修工事の設計を行った。今回は、耐震補強・改修工事を実施するとともに芸術文化振興の活性化を目的としてクラウドファンディングを実施します。

**【問合せ】**

小平市地域振興部文化スポーツ課  
平櫛田中彫刻美術館担当 担当：藤井、松本  
TEL：042-346-9843 FAX：042-346-9575  
メール：bunkasports@city.kodaira.lg.jp

**【添付資料】**

- 写真1枚（記念館外観）
- チラシ 1枚







クラウド  
ファンディング

第2弾

# 平櫛田中応援プロジェクト

～平櫛田中旧宅を後世に残すために～



平櫛田中が晩年を過ごした旧宅〈記念館〉の  
耐震補強・改修工事へのクラウドファンディングにご協力ください！

## 事業概要

平櫛田中彫刻美術館の記念館は、彫刻家・平櫛田中が暮らしその生涯を終えた旧宅です。1968年の竣工から56年が経過し老朽化が著しい状況であり、令和元、2年度に実施した耐震診断では、基準を大きく下回る結果となりました。以来、一部分の公開としてきましたが、令和5年度に皆様からご支援いただき耐震補強・改修工事の設計を行ない、令和6年度から工事を実施いたします。近代彫刻の巨匠が過ごし作品を制作し続けた記念館を後世へ保存し再び活用するため、皆様のご協力をお願いいたします。

目標金額 **500** 万円

受付期間 **4月27日(土)～7月25日(木)**

### 寄附金について

一口1円から寄附できます。  
なお、2,000円を超える額から  
税額控除があります。  
金額に合わせて返礼品をお渡し  
します。



### 返礼品

- 10,000円以上…美術館にて既刊した図録
  - 5,000円以上…絵はがきセット、クリアファイル大、蒔絵風シール
  - 2,000円以上…絵はがきセット
- ※小平市にお住まいの方には返礼品は  
ございません。



### 寄附の方法

- 美術館・市役所財政課窓口
  - 納付書
  - 現金書留
  - インターネットサイト  
「ふるさとチョイス」
- ※詳しくは裏面をご覧ください。



## 記念館について

彫刻家・平櫛田中が晩年の10年を過ごした自宅です。長らく台東区上野桜木町に住んでいた平櫛田中は玉川上水の風景を気に入り、将来の隠居所として小平の土地を購入しました。戦前に土地を購入してから30年以上の後に、建築家・大江宏による設計で家を建て小平に引っ越してきました。移り住んできた当時の年齢にちなみ、田中自ら邸宅を「九十八叟院」と名付けました。田中の没後は昭和59年(1984)に記念館として開館し、その後平成6年(1994)に展示館を新築して現在は二館併設の美術館として一般公開しています。記念館は令和4年に東京都選定歴史的建造物に選定されました。

## 平櫛田中について

明治5年(1872)に現在の岡山県井原市に生まれ、明治・大正・昭和の長きにわたり活躍した近代日本を代表する彫刻家です。代表作に《てんしやう転生》《鏡獅子》などがあり、百歳をすぎても意欲的に活動を続け、昭和54年(1979)に東京都小平市の自宅で107歳で亡くなりました。文化勲章受章。小平市名誉市民。



小平市 平櫛田中彫刻美術館  
KODAIRA HIRAKUBOSHI DENCHU ART MUSEUM



きゅうじゅうはちそらいん

九十八叟院（記念館）は昭和43年（1968）の12月に竣工し、翌年正月を過ぎてからお客様を招いて邸内をご覧いただきました。お客様は設計者の大江宏、舞踊家の武原はん、日本画家の奥村土牛、美術評論家の今泉篤男など当時の著名な方々でした。

この建物は平屋ですが、床の高低により微妙なレベルの違いが表れ、それが建物や屋根の瓦に波のようなうねりを生んで、美しい外観を創

り出しています。祖父は段差のある邸内をすいすいと案内し、「この建物は私より（岡倉）天心か（横山）大観にふさわしい」などと言っていました。やがて「小平の家が一番」が口癖のようになりました。数え109歳を間近にした昭和54年（1979）12月30日、仏壇の薬師如来が見守る部屋で亡くなりました。祖父生前の息づかいが感じられる記念館を後世に伝えていきたいと願っています。



### 記念館のあゆみ

- 昭和43年12月 記念館（旧平櫛田中邸）竣工
- 昭和54年12月 平櫛田中永眠（満107歳）
- 昭和59年10月25日 「小平市平櫛田中館」開館
- 平成18年4月1日 「小平市平櫛田中館」を「小平市平櫛田中彫刻美術館」と改称
- 平成18年11月1日 市へ記念館が寄附される
- 令和4年7月 東京都選定歴史的建造物に選定される



### 寄附の方法

1

#### インターネット

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」クラウドファンディングのページより小平市を検索してください。  
※掲載期間はクラウドファンディング実施期間です。



2

#### 金融機関または郵便局

小平市寄附申請書（平櫛田中記念館用）に必要事項を記入いただき、小平市役所財政課にご提出ください。後日納付書をお送りしますので、金融機関または郵便局にてお支払いください。



3

#### 現金書留

小平市寄附申請書（平櫛田中記念館用）に必要事項を記入いただき、現金書留に同封し小平市役所財政課にお送りください。



4

#### 現金持参

小平市役所財政課または平櫛田中彫刻美術館にお越しいただき、小平市寄附申請書（平櫛田中記念館用）にご記入のうえ、現金にてお支払いいただけます。美術館に来館された場合は、その場で預り証と返礼品をお渡しします。  
申請書はホームページでダウンロードできます。→



### 返礼品について [2,000円以上の寄附をいただいた方] に、返礼品をお渡しします。（市内在住の方は対象外となります）

※絵はがきセットおよびクリアファイルとシールの絵柄は選べません。図録は美術館がこれまで刊行したものの中からお選びいただけます。「彫刻コトハジメ」（2018年）、「ロダンと近代日本彫刻」（2016年）、「ジャパニーズ・ヴィーナス 彫刻家・藤井浩祐の世界」（2014年）、「仏像インスピレーション-仏像に魅せられた彫刻家たち-」（2008年）、「石井鶴三展」（1999年）  
※「ジャパニーズ・ヴィーナス 彫刻家・藤井浩祐の世界」と「石井鶴三展」はいずれも「平櫛田中作品集」とセットになります。



▲返礼品一例

### 特別記念イベント

記念館にて工事にともなう長期閉鎖前の記念イベントを開催します。



#### 4月27日(土)~29日(月・祝) 田中弁当を楽しむ会

※事前申込制  
市内店舗フレッシュ多摩まるやが販売する「平櫛田中弁当」を記念館で味わうことができます。



#### 5月3日(金・祝) 建築トークイベント ※事前申込制

記念館を設計した大江宏のご子息で、展示館の設計者である建築家・大江新氏（法政大学名誉教授）を招き、記念館の特徴と魅力についてお話しいただけます。また、当館の館長・平櫛弘子が館内の解説を行います。



#### 5月2日(木) 出前コンサート

※事前申込制  
記念館の庭園でプロの音楽家の演奏をお楽しみいただけます。



#### 5月4日(土)~6日(月・祝) お茶会

記念館の庭園に茶席を設け、野点形式の気軽なお茶会を開催します。一日定員60名。

イベントの詳細はホームページをご確認ください



小平市 平櫛田中 彫刻美術館  
KODAIRA HIRAKISHI DENSHU ART MUSEUM

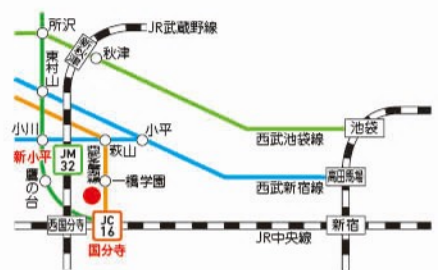


〒187-0045 東京都小平市学園西町1-7-5  
TEL&FAX 042-341-0098  
URL www.city.kodaira.tokyo.jp/dencyu/  
開館時間 午前10時～午後4時  
休館日 火曜日、12/27～1/5  
観覧料 ○一般…300円(220円)  
○小・中学生…150円(110円)

( )は団体20人以上  
※小中学生は、4月27日～5月6日、7月13日～8月31日は無料となります。



- 西武多摩湖線 「一橋学園駅」南口徒歩10分
- 「国分寺駅北入口」から西武バス「小平駅南口」行き「一橋病院」下車徒歩7分



- JR武蔵野線 「新小平駅」タクシー5分
- JR中央線 「国分寺駅」北口タクシー5分